



3月 園だより

静岡精華幼稚園

令和7年2月28日発行

令和6年度も静岡精華幼稚園の教育活動への

ご理解、ご協力、本当にありがとうございました！

園長 熊谷 隆弘

令和6年度の教育活動もいよいよ最終月を迎えますが、精華幼稚園は2月中旬からの行事も目白押しです。

先週の金曜日はお別れ遠足。少し気温は低かったのですが、天候にも恵まれ全学年事故や大きなけが等もなく、予定どおり実施することができました。年少さんは、クラス全員で園バスに乗ることができたので、それも嬉しかったようです。

2月26日（水）は年長さんとのお別れ会。全園児が遊戯室に集まりスタートです。年長児を中心に複数学年の園児でグループを作り、今年は「わくわく！ようちえんうおーく！」と題し、園舎内でグループごとに移動しながら、じゃんけんやボール入れに挑戦しました。他にも〇×クイズをやったり、在園児から年長さんに手作りのプレゼントを渡したりするなど、思い出に残る楽しい活動ができました。職員による演劇「いやいや園」も園児たちに喜んでもらえたようです。

また、2月25日（火）に年長児が「座禅体験」を行いました。場所は毎年お世話になっている沓谷の少林寺です。ご住職様のお話を聞いた後、10分間の座禅に2回挑戦しました。座禅体験は、昨年度から年度末に実施しています。子どもたちにとっては長い時間だったと思うのですが、20分間、しっかりと正座をして全員が一言も発することなく、心を落ち着けて終了することができました。今年の年長さんも本当に素晴らしかったです。この時期の年長さんは流石ですね！間違いなく、卒園式に向けての集中力向上にもつながる貴重な体験となりました。最後に麦茶とお菓子をいただいたのですが、「お茶っこ」での経験も活かしている子どもたちでした。

現在年長児は卒園式の練習を中心に卒園・進学に向けての準備を、年中・年少・満3歳児は、自分自身の成長を振り返りながら、進級に向けての準備を確実に進めています。本年度の精華幼稚園の教育活動が順調に進み、子どもたちが大きく成長することができたのも、保護者、地域の皆様の多大なるご理解、ご協力があったからこそ、と感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

最後になりますが、先週には、私熊谷が声帯を痛めて声が出なくなり、園児、保護者の皆様に大変ご心配をおかけいたしました。申し訳ありません。多くの園児たちから、「園長先生大丈夫？」「早く声が出るようになってね！」と優しく声をかけてもらいました。満3歳児からも「園長先生、お大事に！」との言葉が・・・。

精華幼稚園は、本当に優しい子どもたちばかりです。この子どもたちの優しさや素直な心を大切にしながら、本年度の取組の反省を真摯に行い、次年度の教育活動の計画・実践に活かしてまいりたいと考えております。令和7年度もよろしくお願い致します。